

## 《情報公開文書》

## 特発性肺線維症における在宅酸素療法導入時期の検討

## 研究の概要

## 【背景】

特発性肺線維症（IPF）が進行した場合、在宅酸素療法（HOT）の実施が推奨されています。これによって、低酸素血症が改善され、運動能力が向上し、息切れや咳嗽などの症状も軽減される可能性があります。導入のタイミングや酸素吸入の量にはバラツキがあるのが実際です。そこで、IPF 患者における HOT 導入の状況を調査することにしました。

## 【目的】

IPF 患者における HOT 導入時期の実態を把握し、HOT 導入時の重症度がその後の病状に影響を及ぼすかを明らかにします。

## 【意義】

HOT 導入基準の適正化を検討する取り組みの一助となると考えています。

## 【方法】

HOT 導入となった IPF 患者さんのカルテを調査し、HOT 導入時の血中酸素濃度や 6 分間歩行試験の結果から HOT 導入時点での IPF の重症度を判定します。HOT 導入時の重症度別に年齢や IPF に対する治療内容や病状を反映する血清マーカーや呼吸機能検査などを比較します。また、HOT 導入時の酸素流量、その後の経過における酸素流量の変更状況、そしてその後の病状を比較します。

## 対象となる患者さん

2013年4月1日から2020年3月31日の期間に、長崎大学病院呼吸器内科で、HOT 導入を行なった IPF 患者さん

## 研究に用いる情報

### ●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景：性別、年齢
- 臨床検査：KL-6、PaO<sub>2</sub>、PaCO<sub>2</sub>、呼吸機能検査（FVC、%FVC、%DLCO）、心臓エコー（TRPG、EF）、6分間歩行試験（歩行距離、最低SpO<sub>2</sub>）
- IPF重症度：厚生労働省指定難病認定基準により判定
- 薬物療法：IPFに対する投薬の有無および薬剤名と用法用量
- 酸素流量設定：安静時、労作時、就寝時、それぞれの酸素流量の設定
- 転帰：治療経過

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### 情報の利用開始予定日

本研究は2024年3月26日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2025年3月31日

### 研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 保険医療管理部／呼吸器内科 氏名：石本裕士 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7273
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

### 問い合わせ先

#### 【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 保険医療管理部／呼吸器内科 石本裕士

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7273 FAX 095（849）7285

#### 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）